



道徳だより

2025.11.5号
みよし市立緑丘小学校



4年生「つくればいいでしょ」(内容項目A 個性の伸長)

ねらい

長所は、その人が元々もっているものだと思いますが、努力次第で長所はつくったり伸ばしたりできることに気付き、自分の長所を積極的に伸ばしていこうという意欲を育てることをねらいとして授業を組み立てました。

授業の様子

めあてを「自分の長所を見つけたり、伸ばしたりするにはどんな考えが大切かな」として子どもたちに提示しました。普段自分自身のことや自分の長所についてじっくり向き合うことがないので、少しでも自分の長所に気付き、自信をもって生活してほしいという願いをもって取り組みました。まず教材を読み、主人公の「わたし」についての思いを考え合いました。



教材の概要

4年生になって最初の学級活動のとき、先生から「自分の長所や短所について考えてもらいたいです自分探しをして、しっかり自分らしさに気付いてほしい」と話され「わたし」は友達に聞きました。「明るいところよ」と言ってくれたので、うれしかったけど満足できません。母親に聞くと「見つからなければ、つくればいいでしょ」と笑っています。そんなとき走るのが得意な親友から駅伝大会に誘われました。三か月以上経つ頃には親友と同じように走れるようになりました。自分は陸上の長距離に向いているかもしれないと少し自信も出てきました。学校代表として選手になれるようにもっともっとがんばろうと決心しました。そして、「つくればいいでしょ」と言った母親の言葉も分かってきたように思います。

始めに長所が見つからないわたしは、お母さんの「つくればいいでしょ」という言葉をどのように思ったかと発問すると「**わたしの長所はないのかな」「友達は長所がたくさんあっていいな」「どうやってつくるのかな**」などの意見が出されました。次に「わたしは愛子さんと同じように走れるようになった自分をどう思っているのか」と発問すると「**少し自信が出てきたかな」「陸上に向いているかも」「あきらめずにがんばってよかった」「わたしもこんなにできるんだ**」などの意見が出されました。続いて今は、お母さんの「つくればいいでしょ」という言葉をどのように受け止めているか聞くと「**本当につくることができるんだ」「好きなことが長所になる」「得意じゃなくても長所にできるんだ**」と考えることができました。振り返りでは、「**長所はあきらめずにやったらできるんだと思いました。あと友達の自分に長所があると自信になるという意見を聴いて、確かにそうだと思いました**」と記述していました。

以下に参観された保護者の方々の感想を一部掲載させていただきます。

- とっても良かったです！娘は手を挙げるのが苦手で授業参観はいつも挙げたいけど、挙げたくない様子でソワソワチラチラしているのですが、今日は娘のつばやきを拾って発言の場をくださったので、本人は一つやり遂げたようで満足気でしたし、私は娘が発表はなかなかできなくても本人なりに考えていることが分かってありがたかったです！
- 自分の長所とは何だろうと考え、短所を長所にもでき、そうするためにはどうしたらよいかを考えることができ、とてもよい時間だったと思います。自分の長所をどんどん見つけて、短所とも向き合って長所に変えていけたらよいなと思いました。親としてそのサポートをしていければよいなと思いました。
- 普段自分の長所を考える機会がなかったので、とてもよい時間となったと思います。この授業をきっかけに、自分のことを理解できていくといいなと思います。
- 各科目ではなく、自分について考える道徳を保護者と一緒に取り組めるのは、双方にとってよいことと思いました。
- 自分の長所を見つけることは難しいですが、ちょっとしたきっかけが長所になるということが子どもにとって自信につながると思いました。